

平成29年度久間田福祉会事業報告

1. くまだ保育園事業報告

(1) 子どもの最善の利益を求める保育を

① 異年齢児保育

例年通り、年長児と年中児の異年齢児保育を実施しています。室内の常設コーナー遊び、屋外の自由遊び、リズムあそび、英語あそびなど、異年齢で遊んでいます。

給食やおやつでは、年長児と年中児は食事の時間帯になると三々五々集まり、自由にテーブルを選び、子ども同士で会話を楽しんでいます。帰りの会でも、年長児と年中児で、今日あったことを話し合ったり、発表し合ったりしています。

異年齢児保育の中で、大きい子への憧れ、小さい子への思いやりなど色々な力を身につけていっています。

来年度以降も、子どもたちの様子にあわせ継続したいと考えています。年少児の巻き込み方についても引き続き模索していきたいと考えています。

② しつけ・共育

生活の仕方、生活のリズムやしつけの方法、社会的なルールの伝え方など、基本的な生活習慣について、園のたよりやクラスだより、懇談会、保育参加、運動会、生活発表会などの場で、継続的に保護者へ伝えてきましたが、浸透度に疑問が残ります。

来年度以降も、子育ての中で子ども・保護者・職員の全員が共に育っていけるような園作りを目指して、改善を重ね活動していきたいと考えています。

③ 職員間での情報共有

子どもに対する理解を職員間で共通の物とするため、毎日のミーティングや保育中の連絡、ミーティング議事録などを通じて情報共有を行ってきました。職員・保護者間での共通理解については、懇談会や保育参加、毎日の送迎時での会話で深めてきました。

④ 食育活動

例年通り給食材料のグループ分け(赤・黄・緑・白)を毎日行いました。また、お米研ぎや野菜の下ごしらえ、ふりかけ作り、きなこ作りなど色々なお手伝いを行いました。通年で衛生的な食事の仕方についても指導を行いました。季節毎の行事の際には、行事に即した伝統的な料理を提供し、お月見会、もちつき会、子ども新年会や豆まき会、ひな祭り会等でその料理や食材について伝えてきました。

本年度は、特別な活動を企画して子どもたちを巻き込むのではなく、子どもたちからの声を拾って食育活動に繋げていこうと模索しました。

また、地域の皆様にご協力頂きながら、お米や野菜(サツマイモ・ジャガイモ・オクラ・ピーマン・ゴーヤ・ヘチマ・プチトマト・キュウリ等)を育てて収穫し、食べる事も行いま

した。お米は、今年は精米前で5.6kg(前年4.9kg)の収穫となりました。

⑤ 英会話

本年度も引き続き、亀山在住のイギリス人、アビゲイル・ロイドさん(アビさん)と一緒に英語で遊びました。年長児、年中児、年少児が、英語の歌を歌いながら体を動かしたり、戸外あそびでアビさんと一緒に体を動かしたりして自由に遊び、また、年長児は生活発表会でアビさんと歌った英語の歌を、メドレーにして発表しました。

⑥ 臨床心理士

毎月1度、臨床心理士の鈴木智裕先生より、子どもたちの困っている事やそれに対する関わり方について、助言頂いています。また、希望する保護者に対する面談や小学校への引き継ぎ等も行っています。

⑦ 5歳児健診

鈴鹿市5歳児健診モデル園として、鈴鹿市内のすべての5歳児の様子を観察し小学校等への接続を確実にする活動の先行実証をする事となったため、畑嘱託医、鈴木臨床心理士とともに、対応しました。

(2) 地域の子育てのサポート

① 園庭開放

地域の子育てのサポートとして、園庭解放(なかよしデー)を5月から2月までの間、原則月2回、年間19回行い、未就園児累計169名とその保護者累計156名に保育園を利用していただき、子育て相談に応じました。

② 地域活動

5月から6月にかけて、鈴峰中学校と西陵中学校の中学2年生を、3人ずつ3日間の職場体験を受け入れ、地域の教育支援を行いました。

(3) 高花平保育園との交流

① 高花平保育園にも栄養士が入り、両園の栄養士が交互に献立を作成しています。両園の園長と栄養士が月1回打合せを行い、献立の反省と検討を行いました。

② 鯨岡峻先生をお招きし、両園の保育の視察と講評を受けました。また、両園の保育士がくまだ保育園に集まり、鯨岡先生の講義を受けて合同研修を行いました。

③ 生活発表会をお互いの保育士がお互いの会を参観し、研修活動としました。

(4)環境の整備

① ツリーハウス(総合遊具)

昨年度より行っていましたが、くすのきの周りのツリーハウスが完成しました。高さもあり若干危険な遊具ですが、子どもたちはすぐに慣れ、遊びこんでいます。

② 池(ビオトープ)

水漏れが激しく、毎日水を入れても夕方には乾いていた池ですが、掘り起こして最下層の粘土を入れ直した結果、雨水だけで半年間、池として機能するようになりました。

秋に改修を行った為、未だにメダカが住むだけの裸の池ですが、次の夏には草も生えてビオトープに戻っていくと考えています。

③ 園庭遊具

昇り棒(指詰め・落下対策)、三角タワー(腐食対策)、砂場(砂場枠修繕)についても段階的に改修を行っていきたいと考えています。

(5)行事

行事は、表 1 のとおり実施しました。また、毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行いました。

10 月末から 12 月初めにかけて、試食会(保育参観・給食試食・個人懇談)を行いました。

4 月	1 日	入園式
5 月	9~12 日	鈴峰中職場体験
	13 日	わくわく広場・懇談会
6 月	6~8 日	西稜中職場体験
	8 日	歯科検診
	22 日	内科検診
7 月	6 日	七夕会
	22 日	夕涼み会
9 月	1 日	指導監査
	26 日	稲刈り
10 月	7 日	運動会
	18 日	遠足
11 月	8 日	動物園見学(年長児)
	11 日	竹馬教室(年中児)
12 月	22 日	クリスマス会
1 月	11 日	子ども新年会
2 月	2 日	豆まき会
	17 日	生活発表会
	28 日	おわかれ遠足(年長児)
3 月	2 日	ひな祭り会
	8 日	内科・歯科検診
	22 日(予定)	おわかれ会
	24 日(予定)	卒園式

表 1

2. 高花平保育園事業報告

(1) 子どもの最善の利益を求める保育を

① 食育について

園庭でミニトマト、イチゴなどをつくり、ブドウ、びわ、栗等を収穫しました。また、畑ではサツマイモ、ナス、キュウリ、ピーマン、だいこん、ブロッコリーなどをつくり、また、収穫した野菜や果物でクッキング体験も行いました。

米作りについては、例年通り、足洗い場を利用した小さな田んぼで行いました。年長児が種まき、田植え、稲刈り、脱穀、もみすり、米作りの各段階を体験しました。収量は昨年より少なかったですが、おにぎりにしてみんなで1個ずつ食べました。

鳥獣被害対策の小屋掛けとサル対策用の煙火によりミカン、びわ、ブドウは少し被害にあったものの、他の作物の被害は抑えられました。

② よく遊ぶことについて

高花平保育園でさくらんぼリズムを取り入れてから6年目となりました。複雑な運動を行う前の基礎段階として、さくらんぼリズムは有効であると実感しています。後述する竹馬や、なわとび、鉄棒などの運動あそびにもつながってきています。

また、竹馬づくりについては、3年目となりました。子どもたちは、昨年度、4歳児秋の終わり頃に家族と竹馬をつくり、5歳児5月の終わり頃には竹馬のかさ上げを行い、5歳児10月の運動会で披露をしました。家族と竹馬を作ったことは、子供のやる気を一層促し、ほとんどの4歳児の子がすぐ乗れるようになりました。

また、今年からイギリス人のアビゲイル・ロイドさんに来てもらって、5歳児と4歳児は彼女（アビさん）と一緒に英語で遊びました。

(2) 地域の子育てのサポート

① 高花平幼稚園との定期的な交流（幼保交流）と高花平地区社会福祉協議会福祉部の交流事業（ふれあい会や高花平小学校1年生を含めた合同ふれあい音楽会）等、地域の各団体との交流を行いました。

② さくらんぼ会を通して、地区内外の親子に保育園を利用してもらい、また、子育て相談にも応じました。未就園児累計83名とその保護者累計80名に保育園を利用していただき、子育て相談に応じました。

③ 一時保育事業は、8家庭の子ども、延べ28人（半日が9人、1日が19人）に利用されました。利用人数はほぼ1日1名で、2名、3名の日が1日ずつでした。

(3) くまだ保育園との交流

- ① くまだ保育園と高花平保育園で給食献立を統一し、くまだ保育園園長とくまだ保育園在籍の栄養士が毎月1回打合せをくまだ、高花平と場所を変えて、園長、主任保育士、栄養士、給食調理員と、食育・献立について話し合いました。
- ② 本年度は、鯨岡峻先生をお招きし、両園の保育を見た後気づいた処を指摘いただき質疑討論をしました。その後、くまだ保育園にて合同で講演をいただきました。この研修により、両園の保育士同士の交流が少しでも深まり成長につながればと期待しています。
- ③ 運動会は両園が同日開催だったため交流はできませんでしたが、生活発表会はお互いの保育士がお互いの会を参観し、研修活動としました。

(4) 環境の整備

- ① 鉄棒、登り棒、雲梯の下のシートを質の良いクッションに交換し、子どもたちの落下時のけがを少しでも防止できるようにしました。
- ② 総合遊具の欠落部品を補修し、再塗装しました。
- ③ 砂場を覆う藤棚の錆を落とし、さび止めと共に新しいペンキを塗りました。
- ④ 木造園舎、ホールの床暖房と荷物置き場からの荷物落下防止扉を設置しました。
- ⑤ ホール出入口の扉を何度修繕しても開け閉めしにくかったため、吊り戸からレール式に変更しました。

(5) 行事

行事は下表のとおり実施しました。

毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行いました。

試食会、保育参加を開催しました。また、保護者懇談会を二度開催しました。

4月	2日	入園式
	28日	こどもの日の集い
5月	7日	親子で遊ぼう会
	19日	幼保交流（幼稚園）
6月	14日	幼保交流（保育園）
	22日	ふれあい会
	23日	プラネタリウム見学(5歳児)
7月	7日	七夕の集い
	12日	幼保交流（小学校プール）
	15日	幼保交流（小学校プール）
	21日	夏まつり

8月		
9月	7日 29日	おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶ会 栗ひろい(5歳児)
10月	8日 14日 19日 21日 30日	運動会 消防署防災指導 秋の遠足 ふれあい会 地区文化祭(5歳児)
11月	2日 5日 9日 17日	さんま焼き会 竹馬作り(4歳児) 動物園見学(5歳児) 内科、歯科検診
12月	20日 22日	もちつき クリスマス会
1月	13日	ふれあい会
2月	3日 4日 14日 16日 28日	豆まき会 生活発表会 劇団(どむならん)公演 ふれあい音楽会 お別れ遠足(5歳児)鳥羽水族館
3月	3日 16日 17日 25日	ひな祭り会 内科・歯科検診 新入園児説明会 お別れ会 卒園式

3. 本部事業報告

平成29年度は、主に社会福祉法等の改正に伴う、組織及び規程類の改正を行いました。

(1) 法人組織改正

- ① 評議員選任解任委員会の設置
- ② 評議員会の設置

(2) 規程類の改正

- ① 定款細則制定
- ② 理事及び幹事の報酬に関する規程制定
- ③ 評議員の報酬に関する規程制定
- ④ 経理規程改定
- ⑤ 給与規程改定
- ⑥ 就業規則改定
- ⑦ パートタイマー就業規則改定

(3) 評議員会の開催

- ① 定時評議員会 平成29年6月10日開催
 - 第1号議案 理事、監事の選任について
 - 第2号議案 理事及び監事の報酬等の決議について
 - 第3号議案 評議員の報酬等の決議について
 - 第4号議案 平成28年度事業報告について
 - 第5号議案 平成28年度決算計算書類の承認
 - 第6号議案 社会福祉充実計画の承認について

(4) 理事会の開催

- ① 第1回理事会 平成29年5月27日開催
 - 第1号議案 平成28年度決算について
 - 第2号議案 社会福祉充実残額及び充実計画について
 - 第3号議案 定款細則について
 - 第4号議案 評議員会招集について
- ② 第2回理事会 平成29年6月10日開催
 - 第1号議案 久間田福社会理事長の選任について
 - 第2号議案 理事長職務執行状況の報告について
 - 第3号議案 経理規程改定について
- ③ 第3回理事会 平成30年3月10日開催
 - 第1号議案 平成29年度事業報告及び補正予算について

第2号議案	平成30年度事業計画及び予算について
第3号議案	くまだ保育園・高花平保育園の現況について
第4号議案	平成30年度執行体制について
第5号議案	三重県指導監査結果について
第6号議案	就業規則改正について

(5) 監事監査の実施

定款に基づき、理事業務執行状況及び、財産の状況について、監事による監査を受けました。

平成29年5月23日実施

平成30年度久間田福祉会事業計画

平成30年度より、改定保育所保育指針に基づく保育が始まります。子どもたちの主体性・自己肯定感を伸ばす保育とはどのような保育であるか改めて考えながら、引き続き、「地域における児童福祉の核になる」ことを目指し、努力していきたいと思えます。

認定こども園への移行が可能か、引き続き研究していきます。

1. くまだ保育園事業計画

(1) 共に育ち合う「共育」を目指した保育を

- ① 生活リズム、挨拶など、基本的な生活習慣を保護者・職員が一緒になって子どもに伝え合い、子育ての中で子ども・保護者・職員の全員が共に育っていけるような園作りを目指して保育していく。
- ② 異年齢での関わりを多く持ち、子ども同士で育ち合うような保育環境を整える。
- ③ 鈴木臨床心理士のアドバイスを参考に、子どもの心理や行動に対する理解を、職員間、また、職員・保護者間で共通のものとして、子どもへの一貫した対応を行い、健やかな育ちを保障していく。
- ④ 食育活動として栄養士とともに、子どもの声に基づいた食育活動に取り組む。

(2) 地域の子育てのサポート

- ① 園庭開放(なかよしデー)を毎月第2、第4水曜日に行い、地域の子育て相談についてもその場で受け付ける。
- ② 一時保育は自主事業として行っていく。

(3) 高花平保育園との交流

- ① 高花平保育園と給食献立を統一し、食育の浸透を図っていく。
- ② 互いの職員が互いの保育現場を見学する研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。

(4) 環境の整備

- ① 園舎設備や遊具の老朽化への対応を行う。
- ② 園庭での遊びがより発展するように園庭を改造していく。

(5) 行事予定

- ① 毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行う。

② 10月、11月は試食会、保育参観、個人懇談を行う。

③ その他行事予定を下表に示す。

4月	入園式
5月	わくわく広場・懇談会
6月	歯科検診 内科検診
7月	七夕会 夕涼み会
8月	
9月	
10月	運動会 遠足
11月	東山動物園見学(5歳児) 竹馬教室(4歳児)
12月	クリスマス会
1月	子ども新年会
2月	豆まき会 生活発表会 おわかれ遠足
3月	ひな祭り会 内科検診 歯科検診 お別れ会 卒園式

2. 高花平保育園事業計画

高花平保育園のこども園化が第1段階と考えると、引き続き四日市市の幼稚園統廃合計画で高花平幼稚園が廃園となる方向性を踏まえ、高花平こども園への統合を第2段階として検討したいと思います。

(1) 共に育ちあう「共育」を目指した保育を

- ① 子どもに対する理解を職員、保護者で共通のものとするように努め、子ども・保護者・職員の全員が共に育っていきけるような園を目指して保育をしていく。
- ② 異年齢での関りを多く持ち、子供同士で育ちあうような保育環境を整える。
- ③ 保育士・栄養士・調理士は子供の声に耳を傾け、共同した活動として食育に取り組む。
- ④ イギリス人アビゲイル・ロイドさんと一緒に英語で遊び、英語に親しむ。
- ⑤ 鈴木智裕先生をお願いし、子供の心理について助言をいただく。

(2) 地域の子育てのサポート

- ① 幼稚園、地区社協、地区自治会との交流は交流の在り方の再検討を含め実施する。
- ② 園庭開放(さくらんぼ会)は毎月第2、第4木曜日に行い子育て相談も受け付ける。
- ③ 一時保育事業は地域に開かれた保育の場として園庭開放と共に実施する。

(3) くまだ保育園との交流

- ① くまだ保育園と給食献立を統一し、食育の浸透を図っていく。
- ② 共通の研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。

(4) 環境の整備

- ① 木造園舎の適宜修繕・改造を行い、子供にとって魅力ある空間として行く。
- ② 園庭・園舎を含めて改造計画を作り、順次実施していく。

(5) 行事予定

- ① 行事は何のために実施するのかの検討をその都度行う。
- ② 毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行う。
- ③ 試食会、保育参観、保護者懇談会の開催。
- ④ その他、以下の表に示す。

4月	入園式
5月	こどもの日の集い 親子で遊ぼう会
6月	人形劇
7月	プラネタリウム見学（5歳児） 七夕の集い 夏まつり
8月	
9月	おじいちゃん、おばあちゃんと遊ぶ会 栗拾い(5歳児)
10月	運動会 秋の遠足
11月	竹馬教室（4歳児） 内科歯科検診
12月	クリスマス会 もちつき会
1月	
2月	豆まき会 生活発表会 ふれあい音楽会（4，5歳児） .おわかれ遠足（5歳児）
3月	ひな祭り会 おわかれ会 内科歯科検診・新入園児説明会 卒園式